

杉浦地域医療研究センター

活動報告2018年度



京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻
杉浦地域医療研究センター運営委員会

施設概要

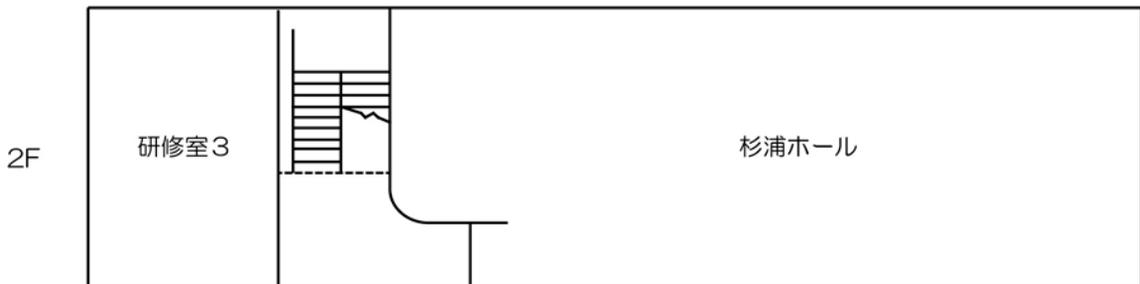
【名称】 杉浦地域医療研究センター

【開設日】 2009年6月23日

【場所】 京都大学大学院
医学研究科人間健康科学系専攻
〒606-8507 京都市左京区
聖護院川原町53

【建物概要】 階数・構造 2階建鉄骨造
延床面積 約500平方メートル

【設立経緯】 健康で文化的な地域社会作りを目指すという人間健康科学系専攻の理念と、薬剤師として地域医療の担い手となり、地域の人々に貢献したいという杉浦広一氏（スギホールディングス株式会社代表取締役会長）、杉浦昭子氏（同代表取締役副社長）両氏の理念が合致し、地域医療に資する教育・研究の推進・発展のため「杉浦地域医療研究センター」が建設され、両氏により寄贈された。



活動実績の概要

本年度（2018年度）、杉浦地域医療研究センター内の杉浦ホールにおいては122件（136日間）の地域医療に関わる講演会、研修会、教育活動などが行われた。研修室1は人間健康科学科教員室として使用された。研修室2は地域医療および地域保健の発展のための研究スペースとして使用され、公募により採択された研究グループによる研究が精力的に推進された。屋外研修室1および研修室3については、学内web予約システムによって使用予約され、多数の会議や小グループ研修会等に利用された。

2018年度 杉浦ホール利用記録

月別	日付	会議名等	利用人数
4月	4/6	学部ガイダンス	100
	4/10	講義(作業療法学講座・山田純栄先生)	50
	4/15	京都府理学療法士会総会	40
	4/17	オランダアイントフォーウェン大学－京都大学交流会	30
	4/19	研究紹介	100
	4/28	検査技術科学コース大学院説明会	50
5月	5/9	杉浦ホール見学	3
	5/13	京都・がん患者と家族の支援ボランティア研修	100
	5/15	講義(作業療法学講座・山田純栄先生)	50
	5/17	研究紹介	100
	5/19	AO trauma Japan	80
	5/29	がんゲノム医療中核拠点病院説明会	100
6月	6/4	転倒予防講演会	40
	6/6	会場事前見学	2
	6/8	天王寺高校の学校訪問	100
	6/18	転倒予防講演会	40
	6/19	オープンキャンパス下見	10
	6/21	研究紹介	100
	6/23	身体運動の計測・解析・可視化とその応用に関する研究会	80
	7月	7/2	AMED超音波データベース会議
7/15	京翔会研修会	50	
7/19	研究紹介	100	
7/22	「多様性をイノベーションに繋ぐ要因の研究と新たな評価法の提案」に関するキックオフミーティング	60	
7/23	シンガポール大学×京都大学介護予防ワークショップ	30	
7/24	葦崎高校SSH関西研修	80	
7/25	会場事前見学	5	
7/27	京都女子大学との共同セミナー	20	
7/28-7/29	スピリチュアルケアセミナー	80	
7/31	神経科学セミナー	15	
7/31	臨床ニーズマッチング会 in 京都大学	100	

月別	日付	会議名等	利用人数
8月	8/6	転倒予防講演会	40
	8/6	滝高校学校訪問の説明会	90
	8/8	修士 共通課題ゼミ(澤本先生)	100
	8/9	オープンキャンパスキャンパスツアー(入試企画課)	100
	8/10	修士 共通課題ゼミ(澤本先生)	100
	8/11	学生、研修医のためのサマーセミナー	100
	8/17	事前見学	3
	8/21-22	HONDA歩行アシスト講習会	40
	8/23	2年次学士試験前日準備	50
	8/24	2年次学士試験	50
	8/27	修士試験前日準備	50
	8/28	がんゲノム医療連携病院説明会	100
	8/30	兵庫高校ならびに四条畷高校の学校訪問の講演会	90
	8/30	京都大学緩和医療研究会	80
	8/31	2018年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム 前日会議	20
9月	9/1-2	2018年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	50
	9/7	第4回再生リハビリテーションセミナー	30
	9/15	研究会	80
	9/20	研究紹介	100
	9/28	京都市左京南地域包括支援センター地域ケア会議	60
10月	10/2	旭丘高校の学校訪問	50
	10/7	2018年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	50
	10/9	看護専門学校の学校訪問	30
	10/11	杉浦ホール下見	2
	10/15	転倒予防研究会	20
	10/17	学校訪問の学生さんへの講演	30
	10/18	研究紹介	100
	10/22	運動機能測定会	50
	10/26	清掃作業	1
	10/26	緩和ケア研修会	10
	10/27	緩和ケア研修会	65
10/28	緩和ケア研修会	50	
11月	11/3	2018年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	50
	11/5	博士後期試験前日準備	50
	11/6	博士後期試験	50
	11/12	海外講師講演	15
	11/15	研究紹介	100
	11/16	特色第二次選考前日準備	50
	11/17	特色入試	50
	11/18	特色第二次選考当日(2日目)	50
	11/22	定期清掃	1
	11/23	ともいき京都 ボランティア研修	50
12月	12/3	運動機能測定会	40
	12/6	理学療法学講座卒業論文発表会	50
	12/10	運動機能測定会	50
	12/10	研究室発表	5
	12/10	卒論発表会に対する予演会	6
	12/12	看護科学コース卒論発表会 前日準備	15
	12/13-14	看護科学コース卒論発表会	100
	12/14	研修会準備	5
	12/15	京都府精神科分野勉強会 1日研修会	40
	12/16	2018年度専門的緩和ケア看護師教育プログラム	50
	12/20	定期清掃	1
	12/20	研究紹介	100
	12/21	第41回近畿小児血液・がん研究会の市民公開シンポジウム会場下見	5
	1月	1/9	会場見学
1/10		看護科学コース卒業試験	70
1/11		検査技術科学専攻卒業研究発表会	70
1/13-14		京都府ELNEC研修会	30
1/16		卒業試験、実習関連準備	2
1/17		看護科学コース卒業試験	70
1/23		定期清掃	1
1/24		看護科学コース卒業試験	40
1/25		京都大学医学部附属病院 高度医療人材養成プログラム第1回市民公開講座	150
1/26		第183回医用画像情報学会	90
1/27		第5回ACP看護研究会地域公開講座	100
1/28		運動機能測定会	40
1/30		打合せ	13
1/31		卒業試験(再試験)	
1/31	学位審査	30	

月別	日付	会議名等	利用人数
2月	2/1	看護科学コース修論発表	50
	2/2	小児がん講演会	40
	2/5	研究会会場下見	5
	2/7-8	検査修論発表	60
	2/9	キャリアパスセミナー(検査技術科学コース・総合医療科学コース)	100
	2/14-15	臨床基礎看護学実習	30
	2/16	近畿小児血液がん研究会(代表 足立壯一)	100
	2/17	京都大学がんプロセミナー Deep learningによる医用画像解析の深化と進化	60
	2/18	環境賦課金工事 施設部検査	7
	2/20	定期清掃	
	2/22-24	学部試験前準備	50
	2/25	学部試験日(1日目)	50
	2/26	学部試験日(2日目)	50
	3月	3/7	京都市左京南地域包括支援センター地域ケア会議
3/8		EOLケア学会セミナー準備	10
3/9-10		EOLケア学会セミナー	70
3/11		JST会議	30
3/14		左京区南地域包括支援研修会	70
3/20		日常清掃	1
3/21-24		リハビリテーション科学コースのイベント	50
3/25		運動機能測定会	40
3/28		介護予防連携会議	50

2018年度 杉浦地域医療研究スペース活動実績報告書

課題名：地域在住中高齢者のロコモティブシンドローム予防のための運動器の機能向上に関する大規模研究

研究代表者：池添 冬芽

使用スペース：地域医療研究室

1) 活動実績の概要

平成30年度の活動として、まず滋賀県長浜市在住中高齢者約2000名を対象に実施した運動器健診結果の分析を行い、AGEs（終末糖化産物）が筋力低下のみならず筋量の減少、骨密度の減少に関連することを *Journal of Gerontology*、スパイナルマウスにより計測した立位姿勢アライメントが起立性血圧調節障害と関連することを *American Journal of Hypertension* にそれぞれ報告した（下記、論文リスト参照）。

さらに、京都府在住の中高齢者を対象に運動機能や骨格筋特性、動作能力、身体活動量を測定し、身体活動量と筋特性についての4年間の縦断追跡研究を *Journal of Applied Physiology*、日常生活動作と段昇り段降時の荷重量との関連性を *American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation* にそれぞれ報告した（下記、論文リスト参照）。

本研究スペースについては、測定に用いている研究機器や関係資料一式を保管し、データ入力・解析を行うスペースおよび関係する大学院生の研究スペースとして使用した。

2) 今後の研究の展望 等

本研究課題では地域在住中高齢者における運動器変化や生活動作能力を多面的に捉えて評価し、運動器変化と動作能力との関連についてリスク因子の影響も踏まえて大規模研究により解明する。平成29年度からは滋賀県長浜市民約1万人を対象としたコホート研究（ながはま0次コホート）をベースとした長期縦断研究も開始されている。そのため、今後は前向き追跡研究により、ロコモティブシンドロームと運動器変化との関連性について解析する予定である。

3) 研究成果（発表論文、学会、出版物、産業財産権など）

【平成30年度論文】

● Masaki M, Ikezoe T, Kamiya M, Araki K, Isono R, Kato T, Kusano K, Tanaka M, Sato S, Hirono T, Kita K, Tsuboyama T, Ichihashi N. Association of activities of daily living with the load during step ascent motion in nursing home-residing elderly individuals An Observational Study. *American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation*.2018, [Epub ahead of print]

● Yoshihiro Fukumoto, Yosuke Yamada, Tome Ikezoe, Yuya Watanabe, Masashi Taniguchi, Shinichiro Sawano, Seigo Minami, Tsuyoshi Asai, Misaka Kimura, and Noriaki Ichihashi. Association of physical activity with age-related changes in muscle echo intensity in older adults: A 4-year longitudinal study. *Journal of Applied Physiology*.2018, [Epub ahead of print]

● Tabara Y, Masaki M, Ikezoe T, Setoh K, Kato T, Kawaguchi T, Kosugi S, Nakayama T, Ichihashi N, Tsuboyama T, Matsuda F. Small degree of lumbar lordosis as an overlooked determinant for orthostatic increases in blood pressure in the elderly: The Nagahama Study. Am J Hypertens.2018, [Epub ahead of print]

● Tabara Y, Ikezoe T, Setoh K, Kawaguchi T, Kosugi S, Nakayama T, Ichihashi N, Tsuboyama T, Matsuda F, and the Nagahama study group. Advanced glycation end product accumulation is associated with low skeletal muscle mass, weak muscle strength, and reduced bone density: The Nagahama study. Journal of Gerontology.2018, [Epub ahead of print]

【平成30年度学会発表】

国際学会発表

●Ikezoe T, Sato S, Ichihashi N, Tabara Y, Nakayama T, Matsuda F, Tsuboyama T. Effect of age on muscle strength of lower limbs: a cross-sectional study. The 23rd Annual Congress of the European College of Sport Science. 2018. July. 5-8

● Takehiro Kato, Tome Ikezoe, Yuta Yagi, Takahiro Nakashima, Noriaki Ichihashi: Relation between upright postural stability after rapid forward stepping and rate of force development of the ankle plantar flexors and dorsiflexors. The 23rd Annual Congress of the European College of Sport Science. 2018. July. 5-8.

国内学会発表

●池添冬芽・市橋則明・田中真砂世・田原康玄・中山健夫・松田文彦・坪山直生. 地域在住中高齢女性における筋量減少と肥満・低栄養との併存が筋力・歩行能力に及ぼす影響～ながはまスタディ～. 第60回日本老年医学会学術集会. 2018.6.14-16

●田原康玄・池添冬芽・市橋則明・坪山直生・瀬藤和也・松田文彦：地域在住高齢者において身体機能の低下は軽度認知機能障害と関連する～ながはまスタディ. 第60回日本老年医学会学術集会. 2018.6.14-16

●谷口匡史・福元喜啓・山田陽介・澤野翔一郎・南征吾・池添冬芽・木村みさか・市橋則明：骨格筋における筋厚・筋輝度・細胞外液比の加齢性変化. 第23回日本基礎理学療法学会学術大会. 2018.12.15-16.

●加藤丈博、池添冬芽、田原康玄、松田文彦、坪山直生、市橋則明：地域在住中高齢者におけるロコモ度テストに影響を及ぼす因子に関する大規模研究. 第23回日本基礎理学療法学会学術大会. 2018.12.15-16.

●八木悠太、池添冬芽、加藤丈博、木村みさか、市橋則明：高齢者における光刺激による二重課題ステップ動作時の接地後安定性について. 第23回日本基礎理学療法学会学術大会. 2018.12.15-16.

●福元喜啓, 山田陽介, 池添冬芽, 渡邊裕也, 谷口匡史, 澤野翔一郎, 南征吾, 浅井剛, 木村みさか, 市橋則明：高齢者における身体活動量と筋エコー輝度の加齢変化との関連—4年間の縦断研究—. 第23回日本基礎理学療法学会学術大会. 2018.12.15-16.



京都大学
KYOTO UNIVERSITY